地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
東がたりり	令和7年9月25日
更新年月日	(第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名	糸島市
(市町村コード)	(402303)
地域名	深江地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	<u>179.64</u> ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	<u>179.64</u> ha
② 田の面積	<u>175.14</u> ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	<u>4.49</u> ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.55 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.55 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	11.57 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.90 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

深江地区の平坦地のほとんどが田で概ね基盤整備されており、基盤整備地内で大区画の水田と深江の園芸施設団地にエリア分けがなされている。

施設園芸ではキュウリ・トマト等、露地園芸は、ブロッコリー、キャベツなど高収益型作物が栽培されている。 特徴として、基盤整備地内の水田では深江営農組合による、3年毎のブロックローテーションによる作付けが行われ ている。

地区内の主な土地利用は、米・麦・大豆経営体が8件、ブロッコリー8件、キャベツ1件が営農している。

定川エリアは、排水不良地や、狭隘地、傾斜地など耕作不利地が多く、担い手不足により今後の農地利活用が難しくなることが見込まれる。

園芸ハウス団地エリアは、農道や水路等の法面の一部損壊があるが、生産基盤の機能は維持されている。

基盤整備地内の水田エリアは、河口付近の水路が海水の満ち引きによる影響で水路擁壁が傾斜し、農地からの水漏れが生じている。

【地域の基礎的データ】

農業者:96人、うち団体経営体:3経営体

|主な作物:水稲(酒米含む)、WCS、麦、大豆、ブロッコリー、トマト、キュウリ、キャベツ

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大区画の農地は、営農組合による3年毎のブロックローテーションによる農地利用を行っていく。 また、市内に設置しているRTK基地局を利用したスマート農業を活用し、農作業の効率化や農作業従事者の負担 軽減を図る。

淀川エリアは、現在の利用者での農地利用を図っていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他	地区の坦い手への農地の 負	合的な利用に関う 主稿・集約化を其		- 他の農地は現在の	利田者を由心に	- 農州利田を行い
現状の集積率 88.1 % 将来の目標とする集積率 88.1 %			・本としなか	り、他の辰地は現住の	利用名を中心に	- 辰地利用を刊い
現状の集積率 88.1 % 将来の目標とする集積率 88.1 %						
現状の集積率 88.1 % 将来の目標とする集積率 88.1 %						
3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 農地に空きが生じる際は、まずは近隣の土地利用型経営体への集約化を図っていく。 建業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 1) 農用地の集積、集団化の取組 今後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地パンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「急散被害防止対策」「②有機・減農薬・減肥料」「③スマート農業」「④畑地化・輸出等」「⑤果樹等」「⑥燃料・資源作物等」「②保全・管理等」「② ⑧農業用施設」「⑨耕畜連携等」「⑩その他 選択した上記の取組内容】	(2)担い手(効率的かつ安定	的な経営を営む	者)に対する	 5農用地の集積に関す	- る目標	
農地に空きが生じる際は、まずは近隣の土地利用型経営体への集約化を図っていく。 *業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 1)農用地の集積、集団化の取組 7後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2)農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地パンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3)基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4)多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「急獣被害防止対策」(②有機・減農薬・減肥料 (③スマート農業 (④畑地化・輸出等 (⑤黒樹等) (⑤燃料・資源作物等) (②名機・減農薬・減肥料 (③3スマート農業 (4畑地化・輸出等 (⑤果樹等) (6燃料・資源作物等) (7保全・管理等) (3)・農業用施設 (9)・剥番連携等 (10)・その他 選択した上記の取組内容)	現状の集積率	88.1	%	将来の目標とする集	積率 8	88.1 %
業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 1) 農用地の集積、集団化の取組 分後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地パンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 み要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討していく。 3) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 4) 要に応じて検討していく。 3) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農産業務を発展している。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等の農産業務を開催している。	3)農用地の集団化(集約化	 ;)に関する目標	•		<u>'</u>	
建業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 1) 農用地の集積、集団化の取組 今後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地パンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討していく。 3) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 3) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 3) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 の要に応じて検討していく。 3) 製造・製造・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・関連・	農地に空きが生じる際は、	まずは近隣の土	<u></u> 地利用型経	営体への集約化を図~	っていく。	
1) 農用地の集積、集団化の取組 を後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「1) 鳥獣被害防止対策 「2 名機・減農薬・減肥料」 ③スマート農業 「4畑地化・輸出等」 ⑤果樹等 「⑥燃料・資源作物等」 ②名機・減農薬・減肥料 「3スマート農業」 4畑地化・輸出等 「5 果樹等」 ⑥燃料・資源作物等 「7保全・管理等」 ② 8農業用施設 「 9耕畜連携等」 ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
1) 農用地の集積、集団化の取組 今後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 也域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 也区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ③ ①鳥獣被害防止対策 ② ② 有機・減農薬・減肥料 ③ スマート農業 ④畑地化・輸出等 」⑤果樹等 ③ ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② 劉農業用施設 ⑨耕畜連携等 ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
1) 農用地の集積、集団化の取組 を後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「1) 鳥獣被害防止対策 「2 名機・減農薬・減肥料」 ③スマート農業 「4畑地化・輸出等」 ⑤果樹等 「⑥燃料・資源作物等」 ②名機・減農薬・減肥料 「3スマート農業」 4畑地化・輸出等 「5 果樹等」 ⑥燃料・資源作物等 「7保全・管理等」 ② 8農業用施設 「 9耕畜連携等」 ⑩その他 選択した上記の取組内容】	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いっの日煙を達点	じせるためと	スズキ必亜た母署		
 会後も深江営農組合の管理のもと、農地集積・集約を維持する。 ②農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 ③基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4)多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ① ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】 			() () () ()	<u> </u>		
2) 農地中間管理機構の活用方法 地域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 地区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する要に応じて検討していく。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「①鳥獣被害防止対策」 ②名機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ② 8 農業用施設 □ ② 耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】			- 集約を維	 持する。		
世域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3)基盤整備事業への取組 他区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4)多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)	/ IX O / MILITARY IN THE		C >1049 C 4 E	147 00		
世域計画策定後は、農地バンクを通じた貸借を基本に農地利用を進める。 3) 基盤整備事業への取組 也区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択している。	2) 農地中間管理機構の活					
3) 基盤整備事業への取組 他区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 「①鳥獣被害防止対策」 ②有機・減農薬・減肥料 ③スマート農業 ② ④畑地化・輸出等 ⑤ ⑤果樹等 ③ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】			を基本に農	 地利用を進める。		
他区の田は概ね基盤整備されており、機能維持のための補修等のメンテナンスを検討していく。 4) 多様な経営体の確保・育成の取組 3要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続する。 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 3要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択している。		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
4) 多様な経営体の確保・育成の取組 公要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続す 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 公要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① 鳥獣被害防止対策 □ ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③ スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】	3)基盤整備事業への取組					
必要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続するが、 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 ☑ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】	也区の田は概ね基盤整備さ	れており、機能維	持のためσ	対補修等のメンテナンス	を検討していく	0
※要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続す 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 ※要に応じて検討していく。 ※以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① 自、計で書で、回 ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③ スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 ☑ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
※要に応じて検討するが、多様な経営体を受け入れていく際は、市はJAと連携し相談から定着まで支援を継続す 5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 ※要に応じて検討していく。 ※以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① 自、計で書で、回 ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③ スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 ☑ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ① 自 計被害防止対策 □ ② 有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】				/	1 1n=1/1 > 1 >	
必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】	公要に応じて検討するか、多	様な経宮体を受	け入れてい	く除は、市はJAと連携	し相談から定着	まで文援を継続す
必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
※要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) □ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】						
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください) ① ① 息獣被害防止対策 ② ② 有機・減農薬・減肥料 ③ ③ スマート農業 ④ ④畑地化・輸出等 ⑤ 息 長衛等 ⑥燃料・資源作物等 ② ⑦保全・管理等 ② ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他選択した上記の取組内容】						
□ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】		支援サービス事業	業者等への	農作業委託の取組		
□ ①鳥獣被害防止対策 □ ②有機・減農薬・減肥料 □ ③スマート農業 □ ④畑地化・輸出等 □ ⑤果樹等 □ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他 選択した上記の取組内容】		支援サービス事業	業者等への	農作業委託の取組		
□ ⑥燃料・資源作物等 □ ⑦保全・管理等 □ ⑧農業用施設 □ ⑨耕畜連携等 □ ⑩その他選択した上記の取組内容】		支援サービス事	業者等への	農作業委託の取組		
選択した上記の取組内容】	必要に応じて検討していく。				載してください)	
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写	実情に応じて、必	要な事項を	選択し、取組内容を記		□⑤果樹等
③地元負担を考慮しつつ、営農に必要な水路・堰等附帯施設の補修や改修を適宜検討し、実施していく。	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □	実情に応じて、必 ②有機・減農薬	要な事項を	選択し、取組内容を記	④畑地化・輸出等	
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □ □ ⑥燃料·資源作物等 □	実情に応じて、必 ②有機・減農薬	要な事項を	選択し、取組内容を記	④畑地化・輸出等	
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □ ⑥燃料・資源作物等 □ 選択した上記の取組内容】	実情に応じて、必 ②有機・減農 ③ ⑦保全・管理	要な事項を 薬・減肥料 [等	選択し、取組内容を記 ③スマート農業 □ ② 8 農業用施設 □	④畑地化·輸出等 ⑨耕畜連携等	□ ⑩その他
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □ □ ⑥燃料・資源作物等 □ 〔選択した上記の取組内容】	実情に応じて、必 ②有機・減農 ③ ⑦保全・管理	要な事項を 薬・減肥料 [等	選択し、取組内容を記 ③スマート農業 □ ② 8 農業用施設 □	④畑地化·輸出等 ⑨耕畜連携等	□ ⑩その他
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □ □ ⑥燃料・資源作物等 □ ○ 選択した上記の取組内容】	実情に応じて、必 ②有機・減農 ③ ⑦保全・管理	要な事項を 薬・減肥料 [等	選択し、取組内容を記 ③スマート農業 □ ② 8 農業用施設 □	④畑地化·輸出等 ⑨耕畜連携等	□ ⑩その他
	必要に応じて検討していく。 以下任意記載事項(地域の写 □ ①鳥獣被害防止対策 □ ⑥燃料・資源作物等 □ 選択した上記の取組内容】	実情に応じて、必 ②有機・減農 ③ ⑦保全・管理	要な事項を 薬・減肥料 [等	選択し、取組内容を記 ③スマート農業 □ ② 8 農業用施設 □	④畑地化·輸出等 ⑨耕畜連携等	□ ⑩その他

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

農業を担う者	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)					
Ⅰ属性	属性 辰未で担り日 属性 /氏々‐夕チヒン					十尺、77			
I (氏石•石林) I	^上 (氏名·名称)	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	مط		_
\vdash	\dashv								
	$oldsymbol{\square}$								
	│ └ └ └ ┴ │ ※ └								
	別紙								
	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /								
			•						
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha	·	
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha	·	•

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名·名称)	作業内容	対象品目
1	農事組合法人夢未来ふかえ	播種、肥料・農薬散布、収穫	米、麦、大豆、野菜

6 目標地図(別添のとおり)

